

# リバーレスキューベーシック講習 奥多摩 募集要項

この講習は、河川における流水での水難事故に対処する能力を持つ救助者を養成することを目的として、急流救助の考え方、川の構造や危険物と河川で活動するためのコツや注意点を机上講習で、基本的な泳法やスローバック、ボート操作、ロープを用いた救助の実技を流水の現場で行います。

このコースは、消防士、機動隊等プロの救助者にとって有益な知識と技術です。ぜひ、本講習会に参加され河川救助方法を身に付け出動の機会に備えて下さい。本講習会の規定を満たせば、教育訓練の証としてレスキュージャパンの受講証を発行いたします。隊員として必要な技術や知識を身に付ける、組織力向上や安全のための必要な隊員への教育の機会の提供としてご活用ください。

リバーレスキューの3日間のコースと比較したこの講習の特徴は、3日間を2日間に濃縮するために、3倍カシシステムの作り方や基本的なロープの結び方やアンカー作成などは行わず基本的かつ必ず身に付けておくべき必須項目のリバーレスキュー項目に厳選して講習を進めていきます。



- 開催場所／〒198-0174 東京都青梅市御岳一丁目178-1
- 集合場所／ ビックスマイル奥多摩ベース 9時00分集合
- 受講料金／¥38,000（税・保険料を含む）
- 保険について／受講者全員にレスキュージャパンの傷害保険に加入して頂きます。  
保険料は講習費用に含まれています。
- 受講資格／  
18歳以上の健康な方で講習期間の全行程に参加でき、ある程度泳げる、  
基本的な倍力システム、ロープの結び方、アンカー作成が出来る方
- 持ち物／  
PFD（ライフジャケット）、ヘルメット、ウェットスーツ、シューズ（装備レンタル有（有料））、スローバック※、ホイッスル※（※持っている方のみ）、筆記用具、着替え
- 食事について／各自ご用意ください。近くにコンビニ等はありません  
（受講料金には含まれていません。）
- その他／公共交通機関ご利用の方は、JR青梅線 御嶽駅 が最寄駅となります。駅より徒歩5分が集合場所となります。

- お申し込み／講習申込書をご記入の上FAXでご予約下さい。もしくは、レスキュージャパンホームページ上からご予約下さい。講習料金お支払いは銀行振り込み、またはクレジットカードでのお支払いをお願いします。

なお、お申し込みから5日以内に振込みをお願いいたします。

- キャンセル料／

お客さまのご都合でキャンセルされる場合以下のキャンセル料を申し受けます。

8日前 無料 ・ 7～4日前 30% ・ 3～1日前 50% ・ 当日 100%

- 振込み先／京都中央信用金庫 亀岡支店 普通口座0307728 (株)レスキュージャパン

\* ご不明な点やご質問等ございましたらお気軽にご連絡下さい。(講習予約担当まで)

- 講習会場について

集合場所はJR青梅線の御岳より徒歩5分「ビックスマイル奥多摩ベース」を拠点として講習を行います。青梅線の本数が少ないのでご注意ください。

- 宿泊について

御嶽駅周辺には、ホテルは多くありません。河辺、小作、羽村周辺にはビジネスホテルが多数あります。ご不明な方はお気軽にお申し出下さい。

- 食事／周辺施設について

講習期間中の食事は各自でご手配いただくこととなります。昼食については、時間の都合上、各自弁当持参をお願いします。会場周辺には、コンビニ等がありません。車で20分ほどの移動が必要となります。

# リバーレスキューベーシック講習 スケジュール

- 1日目…机上半日と実技半日（9：00 ～ 18：00）

飲み物、弁当持参でお願いします。

時間	講習内容	要約
9：00	集合・受付	オリエンテーション、ペーパーワーク、自己紹介
	河川救助の考え方	河川救助の基本と救助者の心構え
	水動力学	川の流れ、専門用語、危険箇所の見分け方
	コミュニケーション	ハンドシグナルとホイッスルシグナル
	装備	川での救助に必要な個人装備やチーム
12：30	昼食と着替え	弁当持参、川装備持参と着替え（レンタル有り）
13：30	急流での基本泳法	流れの方向を見極め対岸まで泳いで渡る実習
	スローロープ	スローロープでの救助方法
	浅瀬横断	救助者が浅瀬の急流を横断するテクニック
	テンション・ダイオグナル	対岸との間にロープを張り、要救助者に捕まらせる訓練
17：30	実技終了	
18：00	着替えと解散	

- 2日目…実技講習（8：30 ～ 17：00）

飲み物、弁当持参でお願いします。

時間	講習内容	要約
8：30	集合	着替えた状態で集合（更衣室あり） 当社車両にて移動
	ボート操船	基本操船とリカバリー方法
	2ポイントテザーシステム	ボートにコントロールラインを接続しロープを両岸の陸上から操作することによってボートを移動静止させるシステムの訓練
12：30	昼食	弁当持参、現場での昼食
13：00	フットエントラップメント	水圧により川底の障害物などに挟まってしまった要救助者の救助方法
	C-型インロール	水中での意識のない要救助者の気道確保の方法
	ライブバイトレスキュー	意識のない、またはパニックの要救助者にたいして泳いでレスキューを試みる訓練
	ストレーナー越え	河川域での危険物であるストレーナーから身を守り泳ぐ方法
16：30	実技終了	
17：00	着替えと解散	

予定は、変更する場合があります。ご了承ください。

特に2日目の実技講習は、終了時間が遅れることがあります。ご注意ください。

（その他）

- ・机上講習中は、携帯電話の電源は、マナーモードでお願いします。
- ・実技講習では、屋外での長時間の活動になります。寒くならない格好をしてください。
- ・講習の録音・ビデオ撮影・スマホやデジカメでの動画撮影はご遠慮下さい。写真撮影のみでお願いします。
- ・1時間に10分程の休憩を取りながら講習を進めて行きます。
- ・ゴミのお持ち帰りをお願いいたします。

株式会社 レスキュージャパン

〒621-0826 京都府亀岡市篠町篠町篠新畑田23

Tel 0771-29-2108 Fax 0771-29-2120

E-mail: info@rescue-japan.com